令和４年度　学校経営方針　　奄美市立笠利小学校

学校教育目標

夢をもち 心身ともにたくましい 感性豊かな笠利の子の育成

校訓

はつらつ　好学　明朗

【 学校経営の基調 】
- ○　創立 144 年の伝統の自覚
- ○　信頼と愛情に満ちた学級・学校づくり
- ○　調和と統一のとれた教育活動

（職員集団の英知を結集した取組）

めざす学校像

学ぶ喜びを実感させる学校
あいさつや歌声が響く学校
環境が整備された美しい学校
保護者や地域に信頼される学校

めざす子ども像

かさりの子
- 感動する　心豊かな子
- 最後まで　やりぬく子
- 理解し　広げ深める子
- 望みに向かい　挑戦する子
- 心を合わせ　共に歩む子

めざす教師像

研修に励み，子どもに力をつける教師
子どもを見届け，成長を共に喜ぶ教師
健康で課題達成に協働する教師
子ども・保護者・地域に信頼される教師

キャッチフレーズ

花と島唄につつまれて夢をはぐくむ笠利校

シンボルツリー

「きょら島の木：**ビヨウタコノキ**」（美葉蛸の木）

いつも優しさの葉をひろげ，力強く大地に根を張り，
成長する姿に「生きる力」を感じる。

重点教育課題

1　確かな学力の向上（一人＋５点）
- ○　個に応じた指導の充実と基礎学力の定着
- ○　学び合い充実（話し合い２０分）
- ○　家庭学習の内容の充実
  （10 分×学年＋20 分）

2　豊かな人間性の育成
- ○　道徳教育・人権同和教育の推進
- ○　あいさつ・ゴミの落ちていない学校
- ○　花いっぱい運動・教児共に行う清掃活動の充実

3　健やかな体の育成
- ○　むし歯０（治療率 100%）・感染症予防
- ○　体力・気力の向上
  （体力調査　走力・敏捷性の強化
  県平均以下種目５０％以下）
- ○　体育的行事の工夫

一校一改善

「ラスト１０分間」の練習による習熟

一事徹底

すすんで　そうじをしよう

～みんなのために・もっときれいに～

一校一運動

かけ足・縄跳び

～4～10 月かけ足・11～３月縄跳び～

特色ある教育活動

1　読書活動の推進（年間一人 100 冊以上）
- ○　読書の時間の充実
- ○　蔵書の充実と読書意欲向上の工夫
- ○　読み聞かせグループとの連携

2　郷土教育の充実（第２土曜の活用を含む）
- ○　八月踊り・島唄・島口の継承
- ○　島口教訓カレンダーの暗唱
- ○　郷土行事への積極的参加

3　各種団体との連携強化
- ○　ジョイントプランの推進（笠利中・佐仁小）
- ○　少年団活動等との連携
- ○　学校評議員会・区長会等との連携

人権同和教育を柱に

- ・一人一人が大切にされる授業
- ・互いの良さや可能性を発揮できる取組
- ・互いの良さや可能性を認め合える仲間
- ・安心して過ごせる学校・教室

≪社会の情勢≫

- 多様化する価値観への対応
- いじめ・不登校等への対応
- 急速に進む情報化･国際化への対応　　等

≪家庭・地域との連携≫

- ＰＴＡ活動の活性化
- 子ども会活動の推進
- 三者連携
- 地域の伝統を取り入れた学校教育活動

≪資質向上・業務改善≫

- テーマ研修・個人研修の充実
- 1 Try による業務効率化（職員の健康・安全確保と子どもとふれあう時間の捻出）